

# 情報提供



宮城県復興・危機管理部  
防災推進課 地域防災班  
担当：主査 横田 敬  
mail:bosait@pref.miyagi.lg.jp

編集部発みやぎ便り

## 自主防災活動のノウハウが満載 「みやぎ地域防災のアイデア集」

県は、東北大災害科学国際研究所と連携して、2017年度から20年度まで「自主防災組織育成・活性化支援モデル事業」を実施し、さまざまな自主防災活動の支援に取り組みました。

13市町18モデル地区の事例

をテーマ別に分類・整理したのが「みやぎ地域防災のアイデア集」です。それぞれの活動で得られたたくさんの知見が詰まっています。

事例集は県防災推進課のWEBサイト(右のQR)からダウンロード



ンロードできます。自主防災組織のさらなる活性化や新たな組織結成にお役立てください。

©河北ウイークリーせんだい(2021.6.10)

みやぎ地域防災

検索

# 多様な地域防災 取り組み一冊に



県が作成した「みやぎ地域防災のアイデア集」

## 県が事例集作成、HPでも公開

県は、県内13市町18地域にある自主防災組織の取り組みをまとめた冊子「みやぎ地域防災のアイデア集」を作成した。東日本大震災や2019年の台風19号を教訓とした体制づくりや防災訓練の手順など、テーマごとに分類整理した計80事例を記載。東北大学防災科学国際研究所が監修し、自治体や町内組織の防災活動に広く役立ててもらいたい考えた。冊子はA4判194ページ。「自主防災組織の体制づくり」「避難行動の体制」「避難所運営」など11章に分け、一般的な進め方とともに参考事例を並べた。取り組みがうまく運んだポイントも指摘した。

「災害発生時に各住宅で無事を知らせる旗を掲げる対策を導入した栗原市高清水地区の自主防災会を紹介。訓練後、旗のない世帯への対応についてアンケートを行ったことなどをポイントに挙げた。

「防災訓練」（7章）の章では、丸森町が大規模水害を想定し、車両で山元町に広域避難する訓練を詳述。「住民参加・取組の促進」（8章）では、巨理町での炊き出し訓練を兼ねた芋煮会を取り上げ、「人材育成が地域の活性化にもつながる」と報告した。

県が2017～20年度、自主防災組織の支援事業で設立や活性化に關わったモデル地区の事例を総括した。県内35市町村にバイスターと化した冊子を5部ずつ送り、県のホームページにも内容を掲載した。

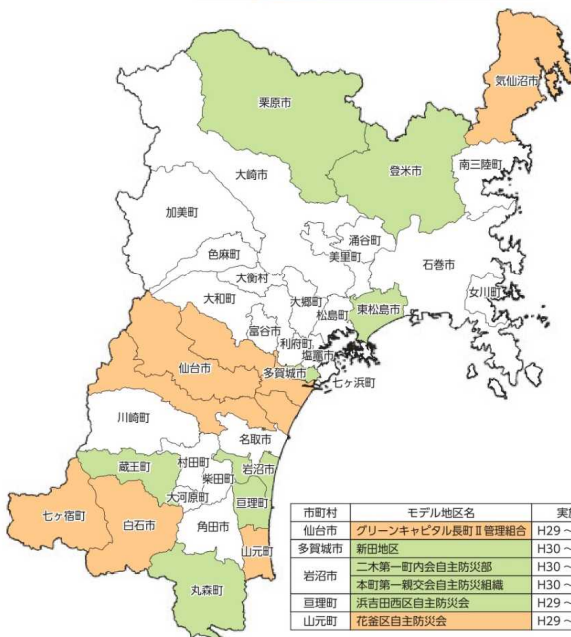
県防災推進課の担当者は「災害発生時だけでなく、普段からの取り組みも数多く載っている。防災を切り口に、地域の結束を高めてほしい」と話す。

©河北新報朝刊  
(2021.5.24)

宮城県自主防災組織育成・活性化支援モデル事業  
モデル地区一覧

支援区分  
■ 育成支援  
■ 活性化支援

市町村	モデル地区名	実施年度
栗原市	高清水地区九区自治会自主防災会	H30～R1 ⑩
	榴槤北自治会自主防災会	R1～R2 ⑩
東松島市	上河戸若葉自主防災会	H29～H30 ④
登米市	細谷区自主防災組織	H30～R1 ⑨
	東表行政区自主防災組織	R1～R2 ⑭
気仙沼市	南郷三区自治会	H29～H30 ②
	三峠自治会	R1～R2 ⑬



市町村	モデル地区名	実施年度
仙台市	グリーンキャピタル長町Ⅱ管理組合	H29～H30 ①
多賀城市	新田地区	H30～R1 ⑧
岩沼市	二木第一町内会自主防災部	H30～R1 ⑪
	本町第一親交会自主防災組織	H30～R1 ⑫
巨理町	浜吉田西区自主防災会	H29～H30 ⑤
山元町	花釜区自主防災会	H29～H30 ③

モデル地区担当アドバイザー（五十音順）  
 安倍 祥：②、③、⑦、⑨、⑩、⑪、⑫  
 小野 円：⑥、⑦、⑧、⑩、⑭、⑮、⑯  
 定池祐季：⑦、⑭  
 佐藤翔輔：④、⑤、⑪、⑬、⑮  
 佐藤 健：①、⑨、⑬、⑯、⑰、⑱  
 柴山明寛：⑥、⑩、⑳

市町村	モデル地区名	実施年度
白石市	三住自主防災会	H30～R1 ⑦
蔵王町	小妻坂地区自主防災会	R1～R2 ⑮
七ヶ宿町	瀧原地区自主防災会	R1～R2 ⑭
丸森町	金山地区自主防災会	H29～H30 ⑥
	額矢間地区協議会	R1～R2 ⑱

## 自主防災組織の体制づくり

### 1 組織の結成と規約

- 事例01-1-1 【気仙沼市】自主防災組織を結成するための準備
- 事例01-1-2 【白石市】自主防災組織結成に至るまでの話し合いのプロセス

### 2 組織の班編成

- 事例01-2-1 【白石市】地域の実状に合わせた「三住方式」の班編成

### 3 防災活動の計画づくり

- 事例01-3-1 【仙台市】市町村の認定制度を活かしたマンション防災
- 事例01-3-2 【丸森町】地域防災計画の学びによる公助の理解
- 事例01-3-3 【七ヶ宿町】地域独自の防災訓練の計画づくり

### 4 関係機関・団体等との連携

- 事例01-4-1 【山元町】消防団・民生委員・児童委員・学校・その他地域団体への声かけ
- 事例01-4-2 【仙台市】町内会に加入していないマンションの地域連携
- 事例01-4-3 【丸森町】行政区の連携による自主防災活動の推進
- 事例01-4-4 【登米市】学校との連携（避難訓練時の学校施設の開放）
- 事例01-4-5 【登米市】寺社との連携（防災訓練時の施設開放・協力）
- 事例01-4-6 【栗原市】民間事業所との連携（一時的な避難所に関する協力協定）
- 事例01-4-7 【丸森町】大学との包括協定

01  
02  
03  
04  
05  
06  
07  
08  
09  
10  
11

#### 組織の班編成

### 事例 01 2 1 地域の実状に合わせた「三住方式」の班編成

## 白石市 三住自主防災会

- 既存の組織との役割の重複を防ぎ、負担を軽減するため、婦人防火クラブに給食・給水班を担ってもらうことにした。
- 給食・給水班以外は、「三住1班」のような居住地別の班の中に、情報収集・伝達、避難誘導の役割を持たせ、近隣の5〜6軒で自己完結できる体制とした。

### 進め方とポイント

#### 準備

- 住宅地図
- 自治会の名簿
- 地域内組織の確認

#### 進め方

##### ① 地域内の既存組織を確認し、自主防災組織内の役割を検討

- 消防団、婦人防火クラブなどの地域内の既存組織で自主防災組織の活動班を担える団体があるか確認し、地域内に居住する婦人防火クラブ員が給食・給水班を担当することにした。

##### ② 役割分担と住宅立地から班編成のスタイルを検討

- ①をふまえて、その他の班編成について検討した。
- 前ページのような一般的な役割別の班編成が良いか、「三住1班」のような居住エリアの中で自己完結できるような体制が良いか検討し、後者の案を採用することにした。
- 上記の際に、自治会の班よりも小規模の戸数にした上で、家庭内・班内の要配慮者と支援者のバランスを考慮した編成を検討した。
- 給食・給水班以外の居住地別に編成した5〜6戸単位の班内では、要配慮者を除く班員に情報収集・伝達、避難誘導などの役割を付与した。

##### ③ 防災訓練で確認

- 防災訓練の後の反省会で、各班の活動のしやすさ、役割分担や改善点についての見直しを行った。

### この取組のポイントや「なぜ、できたのか」など

- 三住地区は酪農地帯の散村地域であり、密集した住宅地とは異なる班編成の方が実行可能性が高いという判断が、日常の地域活動の中で見い出していた。
- 班が消防団員か、地域内の要配慮者はどこにいるかといった細やかな情報を普段から把握しており、無理のない組織編成について了解を得やすかった。

01  
02  
03  
04  
05  
06  
07  
08  
09  
10  
11

## 防災訓練

### 1 情報収集・伝達訓練

- 事例07-1-1 【登米市】情報収集・情報伝達に基づいた対応訓練

### 2 避難訓練

- 事例07-2-1 【亘理町】複数の行政区による合同避難
- 事例07-2-2 【多賀城市】水流歩行訓練
- 事例07-2-3 【登米市】水害を想定した避難訓練の実施
- 事例07-2-4 【丸森町】夜間歩行避難訓練
- 事例07-2-5 【気仙沼市】津波避難訓練における津波避難ビルでの避難者受入訓練
- 事例07-2-6 【山元町】津波避難訓練における指定避難所での受入訓練
- 事例07-2-7 【丸森町】大規模水害時の車両による広域避難訓練

### 3 救出・救護訓練

- 事例07-3-1 【登米市】防災訓練での応急救護訓練
- 事例07-3-2 【丸森町】レスキューボート訓練

### 4 搬送訓練

- 事例07-4-1 【丸森町】手作りの台車による要支援者の搬送訓練
- 事例07-4-2 【栗原市】要支援者の車椅子避難と負傷者の担架搬送

### 5 初期消火訓練

- 事例07-5-1 【白石市】消防署による初期消火訓練の指導
- 事例07-5-2 【岩沼市】町内会役員による初期消火訓練の指導

01  
02  
03  
04  
05  
06  
07  
08  
09  
10  
11

#### 参考事例

#### 救出・救護訓練

### 事例 07 3 2 レスキューボート訓練

## 丸森町 館矢間地区協議会(木沼地区)

- 館矢間の木沼地区は、標高の高い場所に限られ、洪水時には陸の孤島となる可能性が高い地域であり、今回、補助金を活用してレスキューボートを整備したことを機に、実際に使用した訓練を行った。
- 過去、保全隊がゴムボートを持っていた時期もあったが、劣化して使用できなくなっていた。

### 進め方とポイント

#### 準備

- 慣れないレスキューボート訓練での事故を防止するために、消防署、消防団に訓練の協力を要請する。

#### 訓練場所の確保と整備

- 初めての訓練ということもあり、川での実施は避け、排水路をせき止めて行った。
- 現場を視察し、レスキューボートのセッティング場所を確保した。
- 水面への降ろし方などを想定し、土手を降りるための手すりと階段を役員らが手作りして設置した。



土手に手すりと階段を設置

#### レスキューボート訓練

- レスキューボートを訓練場所に運び、空気を入れてセッティングする。
- 水面にボートを降ろし、ロープを手すりに固定する。
- 必ず救命胴衣を着用し、誘導者の指示に従う。



レスキューボートを水面に降ろし着水



レスキューボート訓練の様子

### この取組のポイントや「なぜ、できたのか」など

- 資機材を購入しても、使用したことがないと、いざというときに事故につながりかねない。小雨の中の訓練ではあったが、足下がぬかるみ、滑りやすいなど、水害発生時に近い状況での疑似体験ができ、有意義な訓練となった。

# 今年度の取組紹介 (抜粋)



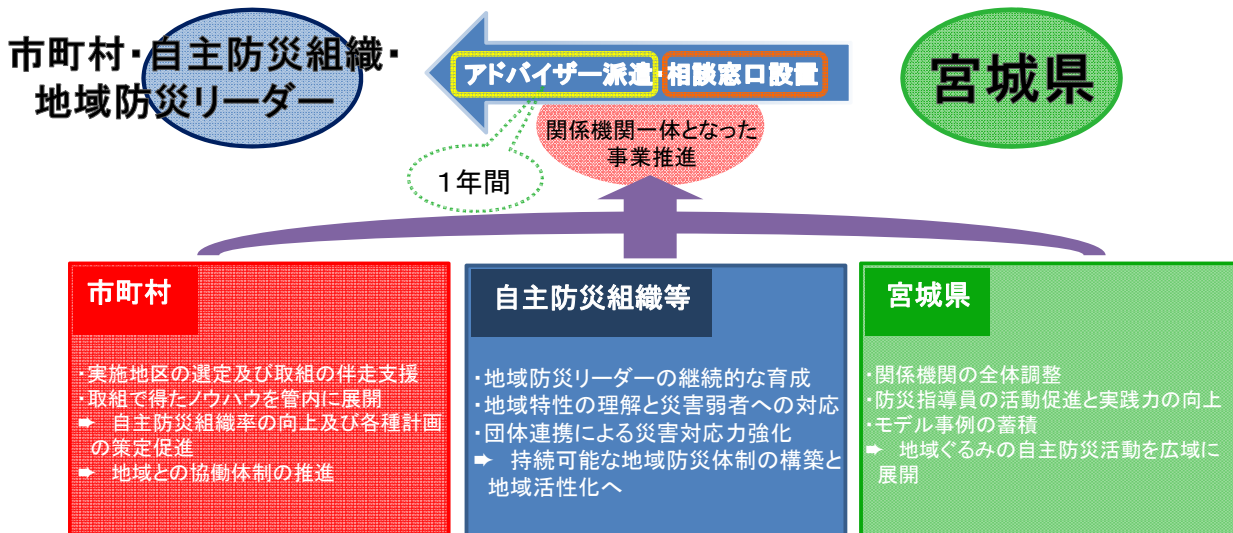
## 防災実践力向上等支援事業

### 課題

- ・自主防災組織及び地域防災リーダーの**防災実践力の向上**
- ・企業、学校、福祉団体及び婦人防火クラブ等の**地域関係機関と自主防災組織の連携強化・ネットワークの形成**

### 内容

- ・防災アドバイザーを派遣し、**自主防災組織の立ち上げ**、**地区防災計画づくり**及び**防災リーダーの育成**など地域の課題・取組状況に応じた支援と、**自主防災組織と地域の関係機関との連携強化**に向けたコーディネートを行う。
- ・地域防災に関する日常的な**相談窓口**を設置する。



# (1) アドバイザー派遣について

取組テーマ	市町村	対象地区等	概要(6月25日現在)
自主防災組織の結成	女川町	女川南区自治会	・防集高台移転による新行政区 ・コミュニティ形成と並行し自主防立ち上げが課題
学校との連携強化	亶理町	鹿島区自主防災会	・亶理中学生を防災人材と捉え、地域としての受け入れ方を探る ・自主防と地元中学校との連携モデル
人材育成	気仙沼市	田中・田中前・田谷・神山(広域自主防)	・8行政区での広域自主防災組織結成を目指す ・広域活動と地区活動の好循環による人材育成モデル
地区防災計画の策定	角田市	枝野5区行政区・8区行政区	・内水氾濫及び阿武隈川決壊リスクを抱える ・自主防はあるが活動の活性化に課題 ・住民自らが命を守る行動を取ることができる、を足がかりに、長期で地区防災計画に取り組む

# (2) よろず地域防災相談について

[トップページ](#) > [分類できます](#) > [防災・安全](#) > [防災・救急](#) > [防災](#) > \よろず地域防災相談について /

読み上げる

\よろず地域防災相談について /

[通常ページへ戻る](#) 掲載日：2021年6月12日更新

県では、地域防災に関する様々なお悩みにお応えするメール相談「よろず地域防災相談」を開設しています。

- ・自主防災組織を立ち上げたい!
- ・活動を活性化させるには?
- ・防災訓練に取り組みたい!
- ・日頃の備えは?

など、地域の防災に関することでしたら何でも構いません!  
 下記のウェブサイトから相談用紙をダウンロードし、メールで送信してください。  
 防災士が内容を確認した上でアドバイスを行います。

日頃から防災意識を高め、住民同士の協力体制を構築しておくことが、災害から地域を守ることに繋がります。  
 まずはお気軽にご相談ください。

**相談対応**

特定非営利活動法人 防災士会みやぎ  
 URL : <http://bousaishi-miyagi.org/>  
 Email : [jimukyoku@bousaishi-miyagi.org](mailto:jimukyoku@bousaishi-miyagi.org)

**このページに関するお問い合わせ先**

**防災推進課**  
 〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8-1 5F  
 地域防災班  
 Tel : 022-211-2464  
 Fax : 022-211-2759  
[メールでのお問い合わせはこちら](#)

**特定非営利活動法人 防災士会みやぎ**  
**(日本防災士会宮城県支部)**



特定非営利活動法人防災士会みやぎは、本会の目的である「自助」「共助」の原則のもと会員のネットワークを構築し、防災士としての活動と技術研鑽を支援することに賛同する宮城県内に在住する防災士有志によって構成する会です。

■「よろず地域防災相談」のコーナー

**【宮城県「令和3年度防災実践力向上等支援事業」実施業務】**  
 本会では、地域防災に関するご相談に対応してまいります。  
 「自主防災組織を立ち上げたい」「地域の防災活動を活性化させたい」など、地域防災に関する様々なお悩みにお応えするメール相談「よろず地域防災相談」です。  
 ご相談等ございましたら下記「地域防災相談フォーム」に記載頂き本会事務局宛送信ください。専門家対応させていただきます。

①「[地域防災相談フォーム](#)」(Word版) ②「[地域防災相談フォーム](#)」(PDF版)をクリック  
 ■送信先  
 防災士会みやぎ 事務局 E-Mail:[jimukyoku@bousaishi-miyagi.org](mailto:jimukyoku@bousaishi-miyagi.org)

よろず地域防災相談 検索

このほか、

■ 自主防災組織リーダー研修会

～地域に広げよう、マイ・タイムラインの輪～

主催：宮城県、大崎市、（一財）日本防火・防災協会

協力：（一財）河川情報センター、東北大学災害科学国際研究所

■ 宮城県防災指導員養成講習 in松島自然の家

対象：県内の中高生

■ 女性防災リーダー意見交換会

などにも取り組みます。

